

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●WASJはモレイラ騎手が1位、チーム戦はJRA選抜が優勝

8月24日(土)と翌25日(日)の2回札幌5日・6日に開催されたワールドオールスタージョッキーズ(WASJ)では、ジョアン・モレイラ騎手(ブラジル)が2着・8着・5着・1着で計64ポイントを獲得し、2015年以来2回目の優勝を果たしました。なおチーム対抗戦ではJRA選抜が237ポイントを獲得、216ポイントのWAS選抜(外国騎手・地方競馬代表騎手チーム)を抑えて優勝しています。

●大野拓弥騎手がJRA通算1万3000回騎乗を達成

8月24日(土)の2回札幌5日・第4レースでルーフオブヘヴンに騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上26人目・現役14人目となるJRA通算1万3000回騎乗を達成しました。

●鮫島克駿騎手がJRA通算500勝を達成

8月25日(日)の2回中京6日・第9レースとして行われた大府特別ではカズベトシーンが1着となり、同馬に騎乗した鮫島克駿騎手(栗東・フリー)は、現役34人目となるJRA通算500勝(6656戦目)を達成しました。

●牧田和弥調教師がJRA通算200勝を達成

8月24日(土)の2回中京5日・第3レースではエブリモーメントが1着となり、同馬を管理する牧田和弥調教師(栗東)は、現役109人目となるJRA通算200勝(延べ3589頭目)を達成しました。

●第14回ジョッキーズベイビーズ東北・新潟地区代表が決定

8月18日(日)、福島競馬場において全国ポニー競馬選手権「第14回ジョッキーズベイビーズ」の東北・新潟地区代表決定戦が実施され、梅澤怜士さん(中学1年生・新潟競馬場乗馬スポーツ少年団)が同地区代表に決定しました。決勝大会は、10月13日(日)、東京競馬場で開催される予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●無敗馬オーサムリザルトがブリーダーズゴールドC(門別)を圧勝

ブリーダーズゴールドC(JpnIII、8月27日、門別、2000^円)は、3番手から3、4コーナー中間で抜け出したオーサムリザルト(武豊騎手、牝4歳、父ジャスティファイ)がデリカダを5馬身引き離し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応じてデビュー以来の連勝を7に伸ばしました。逃げた3番人気のシダーは5着、2番人気のサーマルソアリングは6着、エナハツホは7着に敗れています。

●サマーチャンピオン(佐賀)は台風接近のため9月1日に順延

サマーチャンピオン(JpnIII、8月29日、佐賀、1400^円)は、台風の影響により9月1日に順延されました。

●サッポロクラシックCはイイデマイヒメ【各地の主要2歳重賞】

サッポロクラシックC(8月8日、門別、1200^円)は、離れた中団から追い上げた5番人気のイイデマイヒメ(牝、父カリフォルニアクローム)がゴール前で差し切り、新馬戦から連勝しました。

●カシマエスパーダらが参戦、9月3日の不來方賞(盛岡)

今年から新たにダートグレード競走となった不來方賞(JpnII、3歳、9月3日、盛岡、2000^円)は、鳳雛S圧勝のカシマエスパーダが中心、サトノフェニックス、サンライズジパング、サンライズソレイユ、タイセイミッションが続き、8戦全勝のフジユージーン(岩手)がどこまで通用するかが大きな見どころとなりそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1トラヴァーズS～フィアースネスが3つ目のG1制覇

現地8月24日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1トラヴァーズS(3歳、ダート2000^円)は、J.ヴェラスケス騎手が手綱を取ったフィアースネス(牡3歳、父シティオブライト)が4番手追走から最終コーナーで先頭に立つと、109年ぶりの牝馬による優勝を狙ったケンタッキーオークス馬ソービードアナの追い上げをアタマ差しりぞけて優勝しました。そこから1馬身3/4差の3着にG1ブルーグラスSの勝ち馬シエラレオーネ。G1ベルmont SとG1ハスケルSを連勝して臨んだドーナックは3着馬から6馬身半差の4着に終わりました。

勝ったフィアースネスは昨年のG1ブリーダーズカップジュベナイル(ダート1700^円)を6馬身1/4差で圧勝して米最優秀2歳牡馬に選出。今年は2月のG3ホーリーブルS3着の後、G1フロリダダービー(ダート1800^円)を13馬身半差で大勝。G1ケンタッキーダービーは15着でしたが、続く前走7月のG2ジムダンディS(ダート1800^円)を制して巻き返していました。なお、管理するT.プレッチャー調教師はこれがG1・200勝目となりました。